

高等学校等の関係者の皆様へ

高等学校等の関係者の皆様におかれては、生徒に向き合い、その教育に御尽力いただいていることに心より御礼を申し上げます。また、教育委員会や学校を支える地域の皆様の御努力にも心より感謝いたします。

大学等における修学の支援に関する法律が国会で成立しました。

来年4月から大学、短期大学、高等専門学校、専門学校での学びを支援する新たな取組が始まります。生徒の「学びたい」気持ちをさらに応援し、経済的理由で進学をあきらめることがないよう、現行の給付型奨学金の額を大幅に増やします。あわせて授業料や入学金も支援します。また、対象者も、住民税非課税世帯に加え、それに準ずる世帯まで拡大します。

安心して子供を産み、育てていく上で、子供が高等学校等を卒業した段階で、経済的理由で進学をあきらめることなく、希望に応じて質の高い大学などへ進学できる見通しが立つことは非常に重要です。全世帯に比べて進学率が低い厳しい経済状況の世帯に対して、修学のための経済的負担を軽減することは少子化対策に資するものであり、今回の支援は、本年10月の消費税率の引上げによる増収分を活用して実施します。

今回の支援では、支援を受けた学生が大学などでしっかり学んだ上で、社会で自立・活躍できるようになることが極めて重要です。進学前の明確な進路意識と強い学びの意欲をしっかりと見極めた上で支援を行うことが必要となります。高等学校等には、成績だけで否定的な判断をせず、レポートや面談等により生徒の学習意欲や進学目的等を確認していただくようお願いします。

高等学校等の卒業後に進学を希望する生徒が、経済的理由で進学をあきらめることがないよう、様々な機会を通じて、保護者への説明に努めていただくようお願いします。なお、夏前には、今回の支援への申込手続きが始まりますので、生徒や保護者への案内をよろしくお願いします。

今回の支援は、進学の際には、子供の「学びたい」意欲を何より重視しますが、進学後はしっかり学習してもらうことを前提とします。こうした制度の趣旨を十分に踏まえ、日常の指導を通じて、本人の学習意欲や進学目的などを引き出しながら、生徒や家庭の実情に応じて、各学校で適切な進路指導を行うようお願いします。

誰もが希望すれば将来の夢に向かってチャレンジできる社会を作っていくことが、これからの日本にとって極めて重要です。文部科学省及び日本学生支援機構としても、制度の運用に当たって、学校現場に負担をかけないように、十分配慮してまいります。未来を担う子供たちのために、皆様の御協力を心よりお願い申し上げます。

令和元年5月14日 文部科学大臣 柴山昌彦

高等学校等の生徒の皆さん、保護者の方々へ

新たな修学支援の法律が国会で成立しました。

来年4月から大学、短期大学、高等専門学校、専門学校での学びを支援する新たな取組について、私からメッセージをお送りします。

高等学校などを卒業後、大学や専門学校などで学びたいと思った時、学費のことで不安になる人もいます。文部科学省では、これまでも無利子の貸与型奨学金の充実などに取り組み、平成29年度からは返還不要の給付型奨学金を実施しています。

来年4月からは、皆さんの「学びたい」気持ちをさらに応援し、経済的理由で進学をあきらめることがないよう、現行の給付型奨学金の額を大幅に増やします。あわせて授業料や入学金も支援します。また、対象者も、住民税非課税世帯に加え、それに準ずる世帯まで拡大します。高等学校などの成績だけで判断せず、皆さんの「学びたい」意欲を何より重視します。

進学後は、「学びたい」気持ちを持ち続け、勉学に励んでください。今回の支援は、皆さんの周りの誰もが負担する消費税を財源としています。学生としての本分をしっかりと果たすとともに、卒業後には学びを活かしてそれぞれの道で活躍し、社会に広く貢献していただくことを期待しています。

なお、夏前には、高等学校などを通じた今回の支援への申込手続きが始まりますので、卒業後の進路や自分の将来について、先生方や保護者の方とよく話し合ってください。

希望する進学を叶え、自らの可能性を広げることは、人生を豊かにします。誰もが希望すれば、将来の夢に向かってチャレンジできる。私たちは、そんな社会を作っていきたいと考えています。

保護者の方々におかれては、子供たちが自分の将来に希望を持ち、大学や専門学校などで頑張ろうとする意欲や努力をしっかりと支え、応援していただきたいと思います。文部科学省は、経済的理由で進学をあきらめることがないよう、今後とも、家庭の教育費負担の軽減に取り組んでまいります。

令和元年5月14日 文部科学大臣 柴山昌彦

高等教育機関の関係者の皆様へ

高等教育機関の関係者の皆様におかれては、学生に向き合い、その教育に御尽力いただいていることに心より御礼を申し上げます。

大学等における修学の支援に関する法律が国会で成立しました。

大学や専門学校などの高等教育機関における修学の支援のための取組として、平成 29 年度に創設された返還不要の給付型奨学金が拡充され、あわせて授業料・入学金が減免されることになりました。経済的に特に厳しい状況にある住民税非課税世帯及びそれに準ずる世帯を対象に、給付型奨学金は最大で年額 91 万円を給付し、授業料・入学金減免は最大で年額 96 万円を支援する制度が、令和 2 年度から開始されます。

新たな支援は、新入生だけでなく、既に在学している学生を対象とし、経済的理由で修学をあきらめることがないようにします。

安心して子供を産み、育てていく上で、子供が高等学校等を卒業した段階で、経済的理由で進学をあきらめることなく、希望に応じて質の高い高等教育機関へ進学できる見通しが立つことは非常に重要です。進学率が低い厳しい経済状況の世帯に対して、大学などへの修学の経済的負担を軽減することは、少子化対策に資するものであり、今回の支援は、本年 10 月の消費税率の引上げによる増収分を活用して実施します。

今回の支援では、支援を受けた学生が大学などでしっかり学んだ上で、社会で自立・活躍できるようになることが極めて重要です。このため、学問追究と実践的教育のバランスの取れた、質の高い教育を実施する大学等を対象機関とするため、一定の要件を求めることとしています。この機関要件は、現在の取組を適切に充実させることで満たすことができる内容と考えており、多くの大学等にこれを満たしていただくことを期待しています。

また、あわせて、進学後の十分な学習状況をしっかりと見極めた上で支援を行うことが必要となります。学習状況について厳しい要件を課し、これに満たない場合には支援を打ち切ることとしています。この学習状況の要件を適正に機能させる前提として、対象機関には、厳格かつ適正な成績管理の実施が求められることとなります。

誰もが希望すれば将来の夢に向かってチャレンジできる社会を作っていくことが、これからの日本にとって極めて重要です。未来を担う子供たちのために、皆様の積極的な御対応を心よりお願い申し上げます。

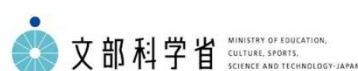
令和元年 5 月 14 日 文部科学大臣 柴山昌彦

令和元年5月14日

## 文部科学大臣メッセージ

高等学校等の生徒の皆さん、保護者の方々へ～高等教育での学びを支援する新たな取組～

### 【動画イメージ】



### 【動画 URL】

○「YouTube」文部科学省動画チャンネル

<https://www.youtube.com/watch?v=QKLXYkoBGUA>

○高等教育段階の教育費負担軽減ホームページ

[http://www.mext.go.jp/a\\_menu/koutou/hutankeigen/index.htm](http://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/hutankeigen/index.htm)

高校生のみなさんへ

／ 経済的理由で進学を  
あきらめないよう ／

**学びたい気持ちを  
応援します！**



大学・短期大学・  
高等専門学校(4年・5年)・  
専門学校に進学する人が対象!!!



新しい「給付型奨学金」と「授業料等減免」  
(入学金を含みます)  
**2020年4月からスタート!**



詳しくは裏面へ ▶▶



進路を考えると、お金のことがちょっと気になる…

話しにくいけど、大切なことです。

そもそも奨学金には  
「給付型」と「貸与型」があります。

給付型

貸与型

2020年4月入学の人に、ビッグニュース!!

「給付型奨学金」の対象が広がります。

授業料・入学金もサポートしてもらえるようになります!

\\すぐにスタート! /

#### 【新しい支援対象の学校は?】

大学・短期大学・高等専門学校・専門学校で  
国の確認を受けた学校(2019年夏以降公表)

#### 【どんな人が対象になるの?】



世帯収入の要件を満たしている  
こと(住民税非課税世帯及びそ  
れに準ずる世帯)



学ぶ意欲のある学生であること  
(高校が成績だけで判断せず、  
レポートなどで学ぶ意欲を評価)

進学後にしっかり勉強しなかった  
場合には支援が打ち切られます

#### 【支援額はどれくらい?】

住民税非課税世帯の学生で  
私立大学に自宅外から通う場合

- ・ 給付型奨学金が年額約91万円支給されます。
- ・ 入学金約26万円、授業料が年額約70万円を  
上限に減免。

住民税非課税世帯に準ずる世帯の場合

- ・ 住民税非課税世帯の学生の  
2/3又は1/3の金額が支援されます。

※家族構成や世帯収入で支援額は異なります。

#### 2019年(高校3年生)申請スケジュール

5月~6月頃

自分が給付型奨学金の対象か、  
JASSOのサイトなどで家族と一緒に調べよう



支援額を試算できる  
シミュレーションの  
ページはこちら

「対象かも」と思ったら、  
先生に申請書類をもらおう

マイナンバーの  
提出が必要なので、  
早めに準備を!

7月頃

JASSOの奨学金申込専用サイト  
「スカラネット」で申し込もう(一部、書類の提出が必要)



夏以降

国等が対象となる学校を公表  
自分の進学予定校が対象となるか確認しよう

12月頃

支援の対象になったら通知が届く  
(予約採用の候補者決定通知)



経済的に厳しくても  
進学するチャンス…  
将来のために先生や  
保護者に相談  
してみよう

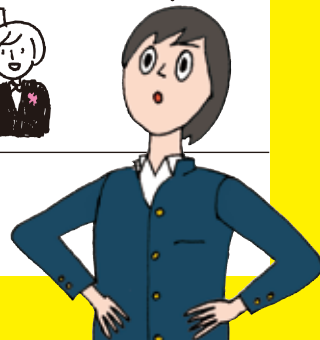
2020年

4月

対象となる学校に入学  
「スカラネット」で進学届を提出  
授業料等の減免は、進学先で手続き



新しい支援制度  
くわしくは特設サイトへ



保護者のみなさんへ

／ 経済的理由で進学を  
あきらめないよう ／

**学びたい気持ちを  
応援します！**



大学・短期大学・  
高等専門学校（４年・５年）・  
専門学校に進学する人が対象!!!



新しい「給付型奨学金」と「授業料等減免」  
(入学金を含みます)

**2020年4月からスタート!**



詳しくは裏面へ ▶▶



子供の進路を考えるとき、お金のことがちょっと気になる・・・

話しにくいけど、大切なことです。



そもそも奨学金には  
「給付型」と「貸与型」があります。



くわしくはこちら

<https://www.jasso.go.jp/shogakukin/seido/index.html>

2020年4月に入学する人から

## 国の新しい修学支援制度が始まります！

家庭の経済事情に左右されずに、意欲のある子供たちが、  
社会で活躍する人材を育成できる大学等へ進学し、学ぶことができますようにします。

うちの子供も  
利用できるか  
調べなくちゃ



### 「給付型奨学金」の対象を拡充します

### あわせて進学先の授業料・入学金も減免(免除or減額)されます

#### 新しい制度の対象となる学校は？

大学・短期大学・高等専門学校(4年・5年)・専門学校

※学問追究と実践的教育のバランスがとれているか、など、一定の要件を満たした学校が対象

進学を希望している学校が対象になるか、  
夏以降に文部科学省のホームページで  
公表される予定です。確認しましょう。

#### どんな学生が対象になるの？



世帯収入の要件を  
満たしていること

住民税非課税世帯及びそれに準ずる世帯

基準を満たす世帯年収は家族構成により異なります。



進学先で学ぶ意欲のある  
学生であること

高校等の成績だけで判断せず、レポートなどで学修意欲を評価

進学後にしっかり勉強しなかった場合には支援が打ち切られます

#### 〔奨学金ミニ解説〕

経済的理由で進学をあきらめてしまうことがないよう、日本学生支援機構(JASSO)は国の奨学金で学生等を支援しています。「給付型奨学金」も、返す必要がある「第一種奨学金」「第二種奨学金」も、生徒自身が申し込みます。支給されるのは入学してからで、学生本人の口座に振り込まれます。

# どれくらい支援してもらえるの？

世帯収入や、国公立か私立か、自宅通学か自宅外通学か、で支援額が異なります。  
JASSOのサイトで試算をしてみましょう。

JASSOサイト内  
シミュレーション  
のページはこちら



世帯年収や  
学校種などに  
よって額が  
変わるんだね。



世帯収入



学校種  
国公立／私立



自宅通学／自宅外通学

JASSOの  
サイトで  
試算して  
みましょう。



**私立大学**に進学し、**自宅以外**から通う場合

給付型奨学金 約91万円／年

支援額	授業料	上限	約70万円／年
	入学金	上限	約26万円

**私立専門学校**に進学し、**自宅**から通う場合

給付型奨学金 約46万円／年

支援額	授業料	上限	約59万円／年
	入学金	上限	約16万円

※ 住民税非課税世帯に準ずる世帯の学生への支援額は、上記の2/3又は1/3になります。

## 申請方法とスケジュール

2019年（高校3年生）にやっておきたいこと

申請はこの夏、  
本人がして  
ください



子供と保護者のマイ  
ナンバーの提出が必  
要です。早めに準備を  
しておきましょう。



調 べる

子供に将来の夢や進学したい学校などを聞いてみる

子供が支援の対象となるかJASSOのサイトなどで調べる

申 請 す る

「対象かも」と思ったら学校から申請書類をもらって  
必要書類を提出。インターネットで申込み  
(予約採用の申請)

進学予定校が対象として認定されたか確認  
(公表は夏以降)

通 知 が 届 く

審査結果の通知がJASSOから学校に届く  
(予約採用の候補者決定通知)

入学後にJASSOへ進学届を提出  
授業料等の減免は、進学時に進学先の学校へ手続き

支 援 の 開 始

奨学金の最初の振込みは4月または5月です。

※最新のスケジュールはJASSOのサイトで確認してください。

## Q & A

### Q どういう人が対象になりますか？

- A. 世帯収入・学修意欲などの要件を満たす人で(P1参照)。支援対象となるかどうかは、日本学生支援機構(JASSO)が審査して、その結果は年末までにお知らせする予定です。

### Q 成績がよくないと支援を受けられないのですか？

- A. 高校等の成績にそれほど自信がなくても、レポートの提出や高校等による面談などにより、学修意欲や進学目的が認められれば申請できます。なお、進学後はしっかりと勉強する必要があります。

### Q どの学校に進学しても支援が受けられますか？

- A. 支援対象の学校は夏以降に公表予定ですので、進学を希望する学校が対象になるのか、文部科学省などのホームページでご確認ください。

### Q 手続きを行う際に準備しておくことは何ですか？

- A. 申請の際には本人及び生計を維持している人(保護者)のマイナンバーの提出が必要になります。マイナンバーカードを持っていない人は通知カードがあるか確認しておきましょう。

### Q くわしいことを調べるために、参考になるものは？

- A. まずは、特設サイト  
「高等教育への進学支援」をご一読ください。



<http://www.mext.go.jp/kyufu/index.htm>

下記にもくわしい情報を掲載しています。



「奨学金の制度(給付型)」  
日本学生支援機構 奨学金ホームページ  
<https://www.jasso.go.jp/shogakuin/kyufu/index.html>

### Q 高校以外に相談にのってくれるところがありますか？


- A. 奨学金の貸与型、給付型、返還に関する  
相談を受け付けています。  
日本学生支援機構 奨学金相談センター  
電話：0570-666-301 (月～金、9時～20時)  
※土日祝日、年末年始を除く ※通話料がかかります。

お電話の前に、まずは、特設サイト「高等教育への進学支援」をご確認ください。

- ・手続きのスケジュールや個別の提出書類は、高校等に相談してください。
- ・マイナンバー提出については「マイナンバー提出に関する専用コールセンター」(申込関係書類の封筒の中に入ってます)に相談してください。



## 高等教育の修学支援新制度(授業料等減免と給付型奨学金)サイト公開について



学びたい気持ちを  
応援します

大学・短大・高等専門学校、専門学校での  
学びを支える法律が成立しました  
— 高等教育の修学支援新制度(授業料等減免と給付型奨学金) —

5月下旬  
公開予定

高校等の生徒のみなさん。

大学等に進学して勉強したいのに、授業料や生活費など、  
お金が心配で、進学しようかどうか、迷っていませんか。

学びたい気持ちを経済的にしっかりと支える法律が成立しました。

本サイトでは、高等教育の修学支援新制度の情報を5月下旬に公開  
予定です。

予定されているコンテンツは下記となります。

- ・高等教育の修学支援新制度ってどんな制度？
- ・どんな学生が対象になる？(支援の対象者)
- ・どのくらい支援してもらえる？(支援の金額)
- ・手続きの方法を教えて
- ・手続きのスケジュールを教えて
- ・進学後に必要なことを教えて

# 進学資金シミュレーターの概要

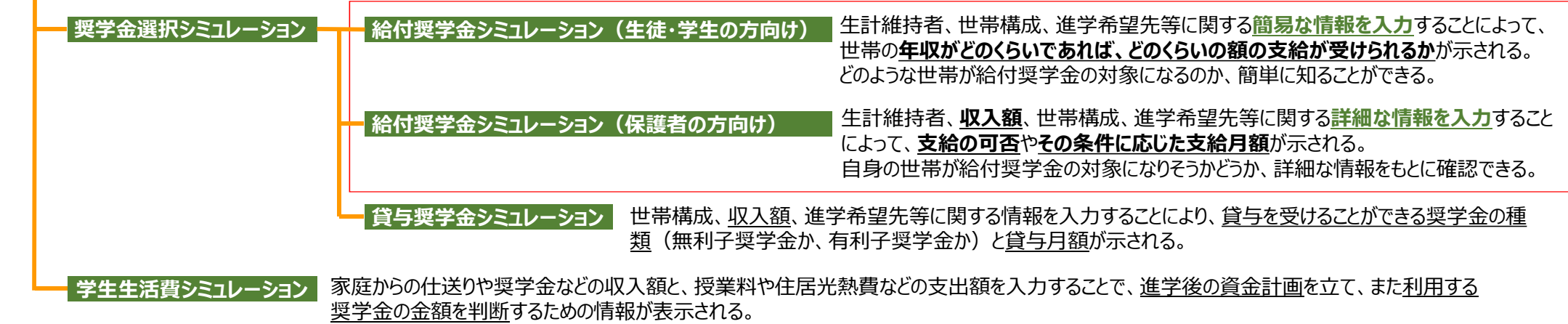
高等教育機関への進学を考えている生徒及びその保護者が、進学に当たっての資金計画を立てる際に、ウェブサイト上で自身の世帯の家計に関する情報等を入力することにより、①受けられる奨学金の種類、②受けられる奨学金の金額、③進学後の学生生活を送るための収支を試算できるシミュレーションツールを日本学生支援機構から提供。（URL：<https://www.jasso.go.jp/shogakukin/oyakudachi/shogakukin-simulator.html>）

## ● 進学資金シミュレーターのイメージ（「給付奨学金シミュレーション（保護者の方向け）」の場合）



## 進学資金シミュレーター

新たな修学支援の法律の成立に伴い2019年5月から公開



## 【参考】奨学金貸与・返還シミュレーション

貸与型奨学金（有利子奨学金・無利子奨学金）について、どのくらいの金額の貸与を受けたら、どのくらいの月額・期間で返還することになるかを試算することができる。

# 「スカラシップ・アドバイザー派遣事業」のご案内

## スカラシップ・アドバイザーとは？

ファイナンシャル・プランナーの資格を持ち、日本学生支援機構の研修を修了し、「スカラシップ・アドバイザー」の認定を受けています。奨学金等の説明やその利用を含めた進学費用準備のための資金計画の説明・助言などを行います。



- 高校生やその保護者などが大学などへの進学を考えるにあたり、その経済的な不安の解消をお手伝いします。
- 高校生などが安心して奨学金を利用するための知識を提供します。
- 奨学金を利用する意味やその正しい使い方を理解するとともに、将来の働き方やお金の使い方を学ぶことができますので、キャリア教育に役立ちます。

※高等学校等あるいはPTA、教育委員会等からの日本学生支援機構への派遣申込に応じて、「スカラシップ・アドバイザー」を全国各地の学校等に派遣し「奨学金等進学資金ガイダンス」を実施します。

※高等学校等における、放課後・長期休業期間中の進学説明会や「総合的な学習の時間」などにご利用可能です。そのほか、PTAや教育委員会主催の進学説明会やPTAセミナー、PTA主催の親子向けの説明会など、多様な場面にご利用可能です。

※派遣料は無料です。



タイムテーブル	「奨学金等進学資金ガイダンス」内容
50 分～ 90 分程度	<b>全体説明</b> <ul style="list-style-type: none"><li>・大学等への進学のための資金計画（奨学金制度の概略の説明を含む。）の説明</li><li>・資金計画の作成方法の説明（受講者による資金計画の作成を含む。）</li><li>・質疑応答</li></ul>
30 分～ 90 分程度 （希望がある場合に限る。）	<b>個別相談</b> <ul style="list-style-type: none"><li>・資金計画の作成への助言等</li><li>・質問対応等</li></ul>

派遣申込の方法、本事業の詳細につきましては、  
日本学生支援機構の HP をご覧ください。

<https://www.jasso.go.jp/shogakukin/adviser/index.html>